

千秋町連区地域づくり協議会

千秋だより 第123号

発行日 令和5年2月1日
発行者 千秋町連区地域づくり協議会 千秋町佐野字郷西 48 番地（一宮市千秋町出張所内）
電話 28-9010 FAX 76-0099 加7サイト <http://138chiaki.org/>

地域づくり協議会 令和4年度を振り返って

地域づくり協議会 会長 青山 克己



平成23年に発足した当協議会も12年が経過し、千秋町の皆様には、日頃から協議会活動にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。今年度は、昨年度までと違い、コロナ禍においても開催できた行事が増えました。

これは、7部会に参加される役員の皆様のご協力とご努力の賜物であり、一步一步前進している姿に感謝しております。コロナ禍の収束を願い、来年度こそは、すべての行事が開催できることを切望しております。

私は、昨年度に連区町会長代表者を経験し、今年度は地域づくり協議会会長、来年度は相談役として協議会運営に携わらせていただきますので、引き続きよろしくお願いたします。

福祉部会（平子 昌三 老人クラブ連合会会長）

令和4年度は、三世代交流事業として7月に『ラジオ体操』（1,696名参加）と、10月2日（日）に『千秋を歩こう会』（88名参加）の2つの屋外行事を開催できました。一方、『童謡に親しむ会』は屋内行事であったため、開催を見送りました。『末広大学』は、11月に日帰りの社会見学（104名参加）を3年ぶりに実施しましたが、公民館での教養講座は全く開催できませんでした。来年度も新型コロナウイルスの感染状況次第にならざるを得ないと思われませんが、健康と出会い、ふれ合いの絆を強めるために頑張ります。

ご理解とご協力をお願いいたします。

高齢者支援部会（馬場 京子 民生委員・児童委員協議会前会長）※令和4年11月30日まで会長を在任

民生委員制度創設から100年以上が経過し、時代とともに社会状況は変化し、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の状況も変化してきました。新たな福祉課題も生じ、活動範囲や活動の仕方に悩んだ年となりました。民生委員・児童委員は、「つなぎ役」となり自治体や関連機関と協働し、地域住民に寄り添って様々な課題を抱えた人々を把握しながら、見守る活動をしてきました。自分の力だけでは制度やサポートを活用できず、居場所を見つけられないまま孤立しやすい人が少なくありません。

支援力を高めるための取り組みとして民生委員・児童委員協議会では、講師を迎えての勉強会、定例会での意見交換の充実を図り、委員の役割の確認、知識の向上に今後も努めていきたいと考えています。

地域学習部会（長谷川 武 公民館館長）

地域学習部は、女性学習部と共に、公民館事業を通じ、街角に笑顔が溢れ、住民相互がいつも助け合える明るい千秋連区となるよう、地域コミュニティの維持、住民の絆づくりに貢献することを目指しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響は依然続き、三大事業（盆踊り・町民運動会・文化展）は、開催することができませんでしたが、「うなぎつかみ大会」は、感染対策を工夫し3年ぶりに実施することができました。来年度は、ウイズコロナに向かいつつある社会情勢を見極めながら、互いに知恵を出し合い、それぞれの事業を工夫しながら、新しい形で実施できるように努力していく覚悟です。

